

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2025 年 7 月 17 日開催分)

開催年月日 : 2025 年 7 月 17 日(木) 11:00~12:00
開催場所 : 株式会社 WOWOW プラス内 Space17C 会議室
出席 : 番組審議員 6 名
書類審査 1 名
WOWOW プラス 7 名

出席者

[審議員] 青木真弥、池ノ辺直子、高寺成紀、富澤一誠、
村上典吏子、湯淺正敏 (以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] (株式会社 WOWOW プラス)

宮澤辰之、森田健介、松田健吾、植竹伸剛、青木昭、
内藤友基 (記録撮影)、高野佳彦(書記)

書類審査

[審議員] 音好宏 (敬称略)

議題 : (1) 2025 年 4 月~6 月の「WOWOW プラス」に対する視聴者からの問い合わせや
指摘・意見について
(2) 「WOWOW プラス」の番組内容、編成内容に関する審議

報告事項 : 2025 年 4 月~6 月の「WOWOW プラス」に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見
について

株式会社 WOWOW プラス メディア戦略局長より代表的な内容等の概要説明を行った。

審議事項 : [審議番組]

観比べ! 『犬神家の一族』

<審議意図>

横溝正史「金田一耕助シリーズ」の中で最も多く映像化されている『犬神家の一族』
のうち、市川崑監督・石坂浩二主演の 1976 年の映画版、同監督・主演コンビによる
2006 年のリメイク版、さらにドラマ作品で最も多く金田一耕助役を演じた古谷一行
が初めて金田一役を演じたドラマ版の 3 作品を一举放送。

本企画の宣伝として、通常番宣 (60 秒) では伝えきれない各作品のそれぞれの魅力
や観比べて楽しんでいただきたいポイントを厳選して解説した 3 分の特別番宣を制
作。4 月下旬から約 40 日間+一举放送の直前に放送し、視聴誘導を図った。

- ・本特集企画への評価と、それが視聴者にとって価値ある企画と考えられるか
- ・特別番宣は各作品および本特集企画の訴求につながっているか

審議内容 : ■審議員意見

・「犬神家の一族」も横溝正史も市川崑も好きなので、よく観ている作品。マニア的には市川作品のリメイクには興味もあり今回ドラマ版も並べて観比べてみる企画は非常に面白いものだと思う。番宣については面白いのだがちょっと短くて物足りず、なぜ 3 分で終わるのだろう、が正直な感想。こういった企画は金田一耕助シリーズでなくてもいろいろな形でテーマ別に括った特集主義で見せていくことは放送局ならではの良い試みと思う。

- ・番宣自体はテンポも良く確かに観比べてみようかなあと思えた。76年版の次女役の三条美紀さんや、三女役の草笛光子さんが、2006年版では別役を演じられていたことなど、よりコアな情報を入れても良かった気がした。
作品自体は良く放送され、観比べ企画もなくはないので、テレビの最新版なども含め、今後も企画する際には完全網羅決定版を期待したい。
- ・古く感じるかな、と思って観たが、今観ても新鮮さが残っている。1976年版を観てから2006年版を観て、同一監督同一脚本で、リメイク版はアレンジを加えることもなく何のためにやっているのか、市川崑監督だから何か意味があるのか、と思いながら観ていた。TVドラマ版も意外やちゃんとしていて驚いた。この番宣をぎっちり映像を入れ込んで解説をしてもらって30分か1時間の番組に仕立てれば、それを観た後に「では本腰を入れて3本観てみようか」という気になるのではないかな。
- ・このような形で企画を立ててやるのは面白いし素晴らしいと思う。こういう特集ができるということは素晴らしいこと。今どきの、情報を取ろうと検索するとすぐに出てくるご時世に、丁寧に特集を組んで観比べて、「なんだ、同じじゃないか」でも何でもよくて、昔の映画を提供できていることがすごく大事でこれからも続けて欲しい。番宣は3分でよいと思う。30分を超えるとそれは番組なので。昨今60秒で番宣を作っている中、3分でたっぷり観られたと思っている。
- ・「観比べ」がキャッチーなタイトルでよかったと思う。番宣は、より細かい部分も欲しかったし3分に収めようとそれぞれのカットが今風に短く切り替わり編集されていたので、3分半や4分あっても一つ一つのカットを丁寧に、この時代の映画を紹介するなら、という印象。企画そのものについては続けてもらいたい。見る側にとって「何を観比べ作品として提示してくれるのか」と興味を持ってもらえる形で続けていくとこれが定着していくように思う。
- ・今回の審議対象番組群のなかで、その解説を担う「観比べ！犬神家の一族特別解説番宣」が、今回放送された「犬神家の一族」のそれぞれの特色や共通性をわかりやすく解説しており、たいへんよくできた「観たくなる」番宣番組だったと思う。今回のドラマ版3作品を一挙放送することは、WOWOW+ならではの編成の妙ということであろう。個人的には、リメイク版の『犬神家の一族(2006)』が最も好きなのだが、市川監督のリメイクに至る想いなど、それぞれの作品に関する関連情報はもっとあったらう。願わくは、もう少し長尺の「観比べ！」版もご用意いただけると、ありがたかった。
- ・自分自身は「犬神家の一族」はほとんど観ておらず(有名なシーンを知っているくらい)、リメイク版もドラマ版もよく知らずほぼまっさらの状態で見聴した。ここまでリメイク版が同じ、というのは珍しい。「観比べ」という企画はさまざまなバリエーションができると思うので今回の企画を活かしてさらに新しいものを作っていただければよいと思う。

連絡事項： 次回番組審議会は、2025年10月16日(木)午後5時(予定)より開催。

以上